

●早めに受診することが大事です

①認知症の症状の進行を遅らせることが可能な場合がある

例えば、アルツハイマー型認知症は早い段階からの服薬治療などにより、症状の進行がゆるやかになる可能性があります。



②認知症の症状を起こす病気の治療が可能なことがある

認知機能低下を引き起こす病気には、早めに治療すれば改善が可能なものもあります。

(正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍、甲状腺機能低下症、アルコール中毒、ビタミン欠乏症など)



③今後の生活について考え、話し合う時間を作れる

早期受診・診断により、症状が進む前に本人や家族が認知症を知ることができます。

今後どのように暮らしたいか、本人・家族で一緒に考える時間や、具体的な困りごとについても専門家に相談する時間が持てます。

(生活の工夫、サービス利用、在宅や施設、財産管理や成年後見制度など)



コラム②

知っていますか？ACP(人生会議)

誰でも、突然に命に関わる大きな病気やケガに遭遇して、意思を伝えることが難しい状態になる可能性があります。

ACP(人生会議)は、最期まで自分らしく生きるため、これからの生き方をあらかじめ自分自身で考え、身近な人と繰り返し話し合い、伝えておく仕組みです。

「自分が大切にしていること」「自分はどのように生きたいか」などの価値観や、「どこで暮らしたいか」「どのような医療・ケアを望むか」などの希望などを身近な人と話してみましょう。

3. 共有して残す

考えたことや
話し合ったことを
書き留めてみま
しょう



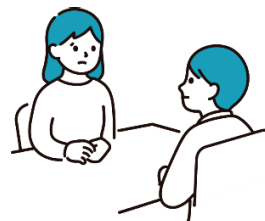
何度も
繰り返して
みましょう

2. 信頼できる人に話す

信頼できる周囲の人や主治医に
話してみましょう

1. 考えてみる

あなたが大切にしたいこと、どんな医療を受けたいかなど



「日本医師会」ホームページで
ACPの詳細をご確認いただけます。

